

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	家庭基礎（東京書籍）				
副教材	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会編）						

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を学習し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に、教科書、家庭科ノート、プリント等を通して基礎的・基本的な内容を総合的に理解していきます。 ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動は、生活の中から課題を見つけ出し、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践することが重要です。 学習内容の定着のためには、家庭での実践が大切です。 年3回の定期考査に向けて学習内容をまとめ、知識の整理を図ることが必要です。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、提出物、実習 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、授業中の取り組み

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生を作る 第6章 食生活をつくる 第3章 子どもと共に育つ 調理実習 （ホームプロジェクト）	自分らしい生き方、家族、生活を支える労働と生活時間等について学習します。 現代の食生活の問題点や食品の選択や安全性、食品の栄養について総合的に学習します。 子どもの発達や生活について学び、健やかに育つ環境について考えます。
2学期	第4章 超高齢社会を共に生きる 第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる 調理実習	高齢者の心身の変化を知り、豊かな高齢期を迎えるしくみについて学習します。 衣服の素材や管理の仕方、資源と環境問題等を学習します。 人と住まいとの関係について学び、健康、安全な住まい、住まいと環境について考えます。
3学期	第9章 経済生活を営む 第5章 共に生き、共に支える 第10章 持続可能な生活を営む 調理実習	消費者として自立するために、意思決定から権利と責任、持続可能な社会について学習していきます。 共に支えあう社会の実現に向けて、制度や支援体制について学び、個人や地域の役割を考えます。 持続可能な社会の構築を目指し、生活者としての課題を学びます。

備考	実習費がかかります。調理実習の時にはエプロン等のふさわしい服装が必要です。
----	---------------------------------------

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	保育基礎	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	保育基礎　ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ（教育図書）				
副教材							

学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	授業を中心に、教科書、プリント等を通して子どもの発達の特長や発達課題等を総合的に理解していきます。保育実習は、年間を通して行います。乳幼児の玩具の製作や幼児食等の調理、また実際に保育所も訪問し、幼児の生活を観察したり、交流学习をしたりすることを予定しています。実施後にはまとめのレポートを提出しましょう。学習の定着のためには、振り返りや復習をしっかりと行うことが重要です。年2回の定期考査や小テストに向けて学習内容をまとめ、知識の整理を図ることが必要です。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、提出物、実習 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、授業中の取り組み

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 子どもの保育 第3章 子どもの生活 保育実習	子どもの健やかな発達を促すための保育の必要性と意義、保育の目標に応じた基本的な保育の方法や保育の環境について学習します。 子どもの生活と養護について体系的に学習します。 子どもにとっての食事の意義を学習し、幼児食を作りの実習を行います。 子どもの様子を観察し、交流することで、体験的に学習します。保育士の様子も観察します。
2学期	第2章 子どもの発達 第4章 子どもの福祉 保育実習	子どもの発達の特長や過程を体験的・系統的に学習します。 保育を行う上で重要な、子どもの福祉の理念や制度、子どもの福祉を支える様々な施設の役割について学習します。 保育実習では、一日の生活の流れの中で一部分を計画立案、準備し、保育者の視点をもって、体験的に学習します。
3学期	第5章 子どもの文化	子どもの文化、遊びと表現活動について学習します。 子どもの健やかな発達を促すために必要な保育の技術を身に付けます。

備考	本来は専門性が高い科目であり、保育にかかわる職業への希望や家庭における保育を重視し、できるだけ専門的な内容を精選し実施する予定です。実習に伴い実習費がかかります。
----	---

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	フードデザイン	学年	第6 学年	類型	ヒューマニティーズ 3 教科
単位数	2 単位	教科書	フードデザイン（実教出版）				
副教材	調理実習ノート（基礎編）（愛媛県高等学校家庭科教育研究会編）						

学習目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることを目指します。食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養います。
学習方法	授業を中心に、教科書、調理実習ノート、プリント等を通して豊かな食生活を構成する要素を総合的に理解していきます。年間を通して実習を行い、食品の適切な取扱い方法や主な調理操作を習得します。できるだけ少人数班での実習を行います。定着のためには、家庭でも実際に作ることが大切です。 年2回の定期考査に向けて学習内容をまとめ、知識の整理をはかる必要があります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習記録表 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、グループでの話し合い、実習の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 食生活と健康 第2章 栄養素のはたらきと食事計画 調理実習 (ホームプロジェクト)	食を取り巻く現状では、自分の食生活を振り返り、栄養素等の摂取状況や、食糧自給率の問題、食意識の多様化などを学習します。 各種栄養素の特徴と体内でのはたらき、代謝について学習します。 各ライフステージの栄養上の注意点について学習します。 日常食の調理実習を行います。
2学期	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 第3章 食品の特徴・表示・安全 調理実習	食事計画にあたっては、「食品群別摂取量のめやす」を利用できるようにします。 様々な食品について、その特徴と調理性、加工について学習します。 日常食や弁当などの調理実習を行います。
3学期	第3章 食品の特徴・表示・安全 調理実習	食中毒についての危険性について学習します。 食品添加物の種類と用途、規制について学習します。 日常食やデザートなどの調理実習を行います。

備考	本来は、専門性が高く単位数の多い科目なのですが、2単位に合わせて内容を精選しながら学習していきます。実習時には、実習着を必ず着用してください。
----	---